

# 京都・二条大橋に到着

## 24回、36日間の「中山道の旅」完結

最後の旅は12月1日。大津駅に集合して、京都三条大橋を目指して歩く。

大津宿を抜けると、逢坂山への上り道。逢坂は畿内と近江を結ぶ交通の要衝。急坂を少しでも緩和しようと、何度か掘り下げられたため、道の両側は石垣の絶壁になつていて、坂の途中の、山の中腹に赤い鳥居の関蝉丸神社上社が建つている。

大谷茶屋の先で、また国道の歩道を歩く。国道と高速道路と京阪電鉄が並んで走り、両側は山が迫る大谷町を抜けたところから旧道に入る。

ようやく山科駅に着いて京都に近づいた感があるが、まだ行程の半ば。天智天皇陵へ続く道の手前を左折し、日ノ岡峠への細い道を上り、九条山上で車の行き交う三条通りに合流した先からは下り道。



最終目的地の京都・三条大橋に到着

山彦九郎の像。  
明治時代に建設されたインクライン（傾斜鉄道）の遺構を過ぎると、三条通りは新旧の町屋が建ち並んで人通りも多い。白川橋を渡ると、三条大橋が見えてくる。左手には御所に向かって遥拝する勤王の志士、高

道の歩道をひたすら歩き、上り立派な蝉丸神社の境内がある。琵琶法師・蝉丸を祀り、音曲芸能の神として今も信仰されている。

「中山道の旅」は2009年4月25日に日本橋をスタートし、2012年12月1日まで24回、36日間の旅。参加実人員26人、延

64期生が迎えてくれた。上田、小諸、大阪から4人。上田高校の旗は、同期の縁で結ばれて旅をしてきたので感無量だった。

三条大橋を渡ると、弥次喜多像のところで、上田高校の旗を持った73万3513歩。楽しく街道の今昔を見ながら、交友を深めた旅であつた。

この後、4月6、7日に、中山道の宿場に火伏せの神様として祀つてあつた、浜松の秋葉山本宮「秋葉神社」に参詣して、中山道の旅は終わりとした。

清水計枝（64期）  
「秋葉神社」に参詣して、中山道の旅は終わりとした。

表彰式パーティでは、初参加

の矢ヶ崎智さん（64期）、大野広さん（65期）、大久保健仁さん（66期）、石川祐一さん（79期）らがスピーチ。優勝した福嶋さんからは、「これまでなかなか上位に入らない状態でしたので、まさかの思いです。小生には雨が幸いしたようです。帰りに川間駅前の居酒屋で仲間と祝杯をあげました。とても気持ちの良いものでした」との感想が寄せられた。



期別優勝の55期チームと個人優勝の福嶋宣さん（右）

## 福嶋宣さんが個人優勝 ゴルフコンペ、期別対抗は55期

4月2日の天気予報は朝から雨、午後には雷雨というものだった。この日、関東同窓会ゴルフコンペが千葉カントリークラブ川間コース（野田市）で開催された。当初43人のエントリーが、天候のせいもあり37人の参加となつた。これまでどんな悪天候でも中止したことがないので、今回もちゅううちよ強く強行。

終日雨はやまなかつたが、大雨とはならずプレーに大きな支障がなかつたのは幸いであった。散つてしまふかと心配された桜も、最後のきれいな姿を見せてくれた。

熱戦の結果、福嶋宣さん（60期）がグロス92、ネット69の3アンダーの好スコアで優勝した。準

優勝は丸山暢久さん（65期）がグロス85、ネット71、3位は高梨芳男さん（64期）がグロス84、ネット72で入賞。高梨さんは佐伯謹吾正昭さん（69期）。

4人以上参加の3期で競われた期別対抗戦は、55期（池野厚、関五郎、宮島光男、飯島慶三郎、秋葉光廣さんの5人）が平均ネット76・5で初優勝。65期（7人）が平均ネット76・53の僅差で2位となる。

表彰式パーティでは、初参加の矢ヶ崎智さん（64期）、大野広さん（65期）、大久保健仁さん（66期）、石川祐一さん（79期）らがスピーチ。優勝した福嶋さんからは、「これまでなかなか上位に入らない状態でしたので、まさかの思いです。小生には雨が幸いしたようです。帰りに川間駅前の居酒屋で仲間と祝杯をあげました。とても気持ちの良いものでした」との感想が寄せられた。

次回の記念すべき第20回コンペは10月29日（火）、場所は同じく千葉CCC川間コースで開催の予定。多数の同窓生の参加を待ちたい。

ゴルフ同好会幹事  
い。